

1. 概要

平成24年度の水質事故については、大分川水系で1件の油の流出が発生しました。

2. 経過と対応

2. 1 大分川水系灯油流出事故

(1) 平成24年9月7日

由布市庄内町大龍の給油所から灯油が流出し、農業用水路を伝って大分川に流れ出ていたことが判明した。15時ごろ、市環境対策課から庄内町大龍の給油所から油流出事故があったと連絡が入った。流出した油種は灯油、流出量は8,000リットルであった。

事故現場、河川等の状況を調査するとともに、えのくま浄水場、古国府浄水場では安全対策のため原水水質の監視強化、粉末活性炭の増量、取水量の削減等必要な措置を講じた。

平成24年9月14日、由布市庄内庁舎で油流出事故について連絡会議が開催され、平成24年9月24日、第2回連絡会議が開催された。

平成24年10月15日、由布市庄内庁舎で第3回連絡会議が開催され、関係者協議のうえで油流出事故の終息宣言がなされた。